

卒業研究 I

科目ナンバリング THE-401
必修 0単位

1. 授業の概要(ねらい)

歴史及び歴史教育にかんする諸テーマをとりあげる演習です。マックス・ヴェーバー『職業としての学問』を講読しながらモダンとは何かについて考え、討議する。

2. 授業の到達目標

- (1)近代の課題に現代ヨーロッパはどのように対処したかを理解する。
- (2)歴史的な時代感覚、今との時間的距離感をしっかり身につけ、自分なりに現代社会を歴史的に位置づけることができる。
- (3)ある程度まとまった英文テキストを読解することが出来る。

3. 成績評価の方法および基準

出席を前提として、ゼミのなかでの発言や発表を平常点とする。最後に、レポートを提出。平常点(40%)、レポート(60%)

4. 教科書・参考文献

教科書

マックス・ヴェーバー 『職業としての学問』 岩波文庫

5. 準備学修の内容

発表の担当が回ってきたときに、泥縄式にならないように。

6. その他履修上の注意事項

ヨーロッパと日本の近代史に関心をもってください。

7. 授業内容

- | | |
|--------|---------------------|
| 【第1回】 | 演習へのオリエンテーション。自己紹介。 |
| 【第2回】 | テキストの講読、発表、討論① |
| 【第3回】 | テキストの講読、発表、討論② |
| 【第4回】 | テキストの講読、発表、討論③ |
| 【第5回】 | テキストの講読、発表、討論④ |
| 【第6回】 | テキストの講読、発表、討論⑤ |
| 【第7回】 | テキストの講読、発表、討論⑥ |
| 【第8回】 | テキストの講読、発表、討論⑦ |
| 【第9回】 | テキストの講読、発表、討論⑧ |
| 【第10回】 | テキストの講読、発表、討論⑨ |
| 【第11回】 | テキストの講読、発表、討論⑩ |
| 【第12回】 | テキストの講読、発表、討論⑪ |
| 【第13回】 | テキストの講読、発表、討論⑫ |
| 【第14回】 | テキストの講読、発表、討論⑬ |
| 【第15回】 | まとめと課題。 |